

【フェンシング】男子フルーレ ワールドカップ セルビア大会で 飯村一輝選手銅メダル獲得！

ジュニア世界選手権金メダリストが、シニアワールドカップで日本男子フルーレ史上最年少表彰台の快挙！

現地時間2022年4月17日(日)にベオグラード(セルビア)で開催された、フェンシング男子フルーレ ワールドカップ セルビア大会にて、飯村一輝選手(慶應義塾大学)が銅メダルを獲得致しました。日本男子フルーレのワールドカップメダル獲得は2022年2月のカイロ大会(敷根崇裕選手)の銅メダルに続き2大会連続となります。また、18歳3か月でのシニアワールドカップメダル獲得は太田雄貴前会長の18歳7か月を抜き、日本男子フルーレ史上最年少となります。

今大会を世界ランク184位、そして今年のジュニア世界選手権金メダリスト(2022年4月5日、ドバイにて開催)として迎えた飯村選手は、ベスト16で世界ランキング3位の敷根崇裕選手との日本人対決を15対10で制すると、準々決勝ではK AHL選手(ドイツ)に15対6で快勝。準決勝ではAVOLA選手(イタリア)に15対9で敗れるも、見事銅メダルを獲得しました。

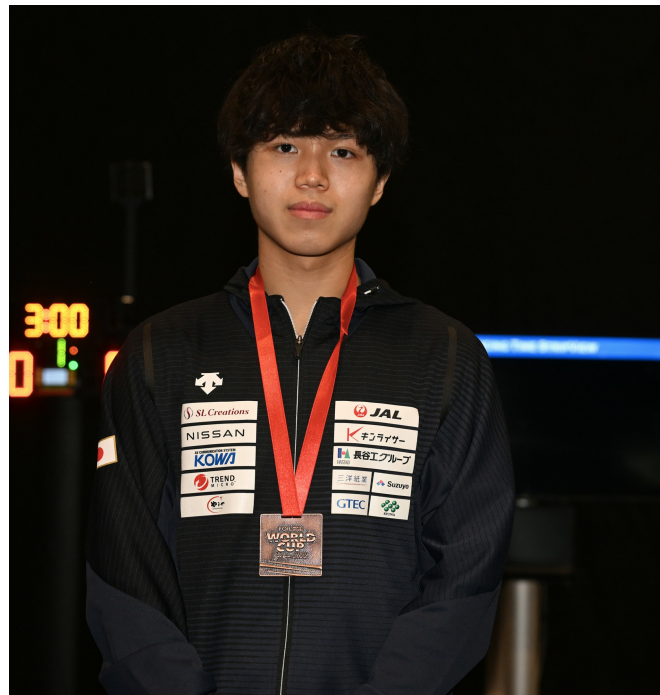


T16では日本代表対決を制した



準決勝でも善戦するも敗退

飯村選手は2003年12月27日生まれの18歳。日本男子フルーレ個人でジュニア選手(U20)がシニアの国際大会においてメダルを獲得するのは、2004年ワールドカップイラン大会での太田雄貴・前FJE会長(金メダル/18歳7か月)以来。18歳3か月でのメダル獲得は日本男子フルーレ史上、最年少となります。



【本人コメント】

これまでベスト32の壁を越えることができず、苦しんでいましたが、世界ジュニアで優勝したことが弾みとなって今回のW杯で3位になれたと思います。今回の結果で満足はしていませんが、このメダルを自信に変えて、引き続き精進していきたいです。

以上

公益社団法人日本フェンシング協会のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchlp/company_id/39246

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

公益社団法人日本フェンシング協会 広報担当：鳥山

電話：090-9348-4851

メールアドレス：toriyama.satoko@fencing-jpn.jp